

## 「当事者ってなんだろう？」

第3回「大学で美術を学んでなに?」、第4回「ハラスメント対策ってなに?」に引き続き、今回は「当事者ってなんだろう?」というテーマでみんなで話したいと思います。

「当事者とはなにか」を考えることは、どのようにハラスメント問題解決へつながるでしょうか。何かの問題について話したい時、「当事者」と「そうではない人」の隔たりは、どのように埋めることができ、どのようにお互いが関わるができるでしょうか。ハラスメントの申し立ては、当事者本人がした方が効果的であり、代理告発などは難しいとされています。しかし、周りが何もできないわけではありません。自分が当事者ではない時にどんなことができるでしょうか。自分から遠くにあるように見える問題に関わるための一歩は、どのように踏み出すことができるでしょうか。今回はさまざまな視点を共有しながら、「当事者」とそうではない人の間にあるように感じてしまう溝を埋める方法を、みんなで話し合ってみます。

### ○話し合いたいピック○

- ・自分は当事者ではないけれど、興味があることってどうやって話せば良い?
- ・当事者とそうじゃない人の境界線ってなんだろう(境界線はどのようにあって、どのようにないの?)

### ○参考資料○

今回のテーマの全てを補うことができるわけではありませんが、一つの側面の参考資料として共有したいと思います。勉強会の冒頭で資料内容を紹介する時間を取ります。

- ・『THIS IS JAPAN』レイディ みかこ著 <https://www.shinchosha.co.jp/thisisjapan/>  
- 第四章 大空に浮かぶクラウド、地にしなるグラスルーツ  
...「70年代から障害者運動が続けられて来られた理由は、ここは僕の解釈ですけども、それは事業として確立していったからです。...それと、障害者自身が障害者を教育するというのかな。...当事者運動のエネルギーを障害者たちが共有できるようにしてきた。」...
- ・『当事者は嘘をつく』小松原 織香著 <https://book.asahi.com/jinbun/article/14575864>  
変わったタイトルの本ですが、上記のリンクからこの本のまえがきを読むことができます。
- ・「当事者」を英語で定義したらどんな言い方になる?  
- *The Role of the 'tōjisha' in Current Debates about Sexual Minority Rights in Japan, 2009*  
(性的少数者の権利について、今日の日本での議論における”当事者”の役割):  
<https://www.tandfonline.com/doi/abs/10.1080/10371390903026933>
- ・『彼らが最初共産主義者を攻撃したとき』マルティン・ニーメラー  
最初、彼らが社会主義者を攻撃したとき、私は声をあげなかった。  
私は社会主義者ではなかったから。  
次に、彼らが労働組合員を攻撃したとき、私は声をあげなかった。  
私は労働組合員ではなかったから。  
そして、彼らがユダヤ人を攻撃したとき、私は声をあげなかった。  
私はユダヤ人ではなかったから。  
とうとう彼らが私を攻撃したとき、私のために声をあげる者は、誰一人残っていなかった。

### 【キーワード】

よそもの、中の人を守る(当事者の人を守る)、反対に外側をつくってしまう(トランス差別、人種差別、ヘイトクライムなど)、植民地主義、難民、運動の歴史、HIV、クィア、フェミニスト、代弁すること